

フレンドシップの情報誌



第 1 号
2020.9

PICK UP 企業
株式会社協田コウキ製本

目次

- Pick up 企業／会社概要
- 実習生についてお聞きしました！
- 創刊にあたり思うこと
- 外国人技能実習生などの動向について
- フレンドシップ協同組合 スタッフ紹介

フレンドシップ 協同組合
Friendship Cooperative

株式会社脇田コウキ製本

無線綴製本・平綴製本・中綴製本 専門

会社についてお聞かせください！

会社の事業案内

昭和16年に帳簿作りから始まった事業は、時代の変化と共に製本に欠かせない折機を導入して、カタログや教科書の製本をスタートさせ現在に至ります。



製本になるまでの工程は知られていませんが、一般的に面付けされた印刷物に四ツ折、八ツ折などの「折り丁」を必要ページ分を作成し、重ねて丁合をします。綴じ加工を施し、最後に余分な箇所を切り落とし、完成という流れになります。当社では、無線綴じ・アジロ綴じ・中綴じが可能であり、カタログや教科書のような厚みのある本から、パンフレットのような薄い冊子を仕上げることができます。

また、製本後には当社から納品先へ直接納品するサービスも行っています。

社長の思いや会社の理念をお聞かせください。

先代の時代から製本に携わるようになり私が継承し、創業約40年ほどが経ちます。会社の理念として「お客様第一主義」を掲げているように、時代の変化だけでなく、お客様の求めるものが作れるようにと、様々なことにチャレンジしながら現在の事業に落ち着いています。

製本作りの業界は小さく、当社と同規模の会社は東海地区にも3,4社程度です。製本業を知らない人もいるかもしれません。それでも私たちは、求められるクオリティを提供するために、丁寧な仕事を続けて、手に取る時に良いものだと感じてもらえたらと思います。

これは、私一人の思いだけでなく、社員も誠意と熱意を持って、日々の業務に励んでくれています。

デジタル化が進み、本やカタログの電子化も製本を必要としない形に変化しています。そんな中で、「私たちにできる変革は何か？」と、考えていますが、あえて止まってみることも必要なのかなと思います。

本にも良さがああり、それを大事に思ってくださいお客様がいます。これまで通りの製本作りを大事にしながら、時代と合ってくるタイミングを待つのもいいかなと考えています。



今後どのような会社にしていきたいですか？

これまで以上にお客様第一主義で、新しい事業やサービスが展開できたらと考えています。

本は、分業で作業が進められます。一連の作業工程から、お客様の手元に届くまでを「川の流れ」に例えてみると、私たちの製本作りは川の中流に位置しています。

川上へ登れば、印刷作業があります。一枚の紙に本の元となる印刷をして、当社へと運ばれてきます。もし、新事業として同じ作業を考えると、まずは機械の導入が必要です。仮に、機械が導入されることで、印刷する工程ができたとしても、お客様から離れてしまいます。これでは本末転倒です。

逆に川下へと下ると、製本して仕上げた本を、工場から納品先へと届けることができます。もしくは、倉庫で在庫を確保して随時発送することもできます。納品や発送に関わる作業は、お客様により近い仕事であり、当社が行うことで製本以外での強みとなります。

どちらが会社の理念に添えるかと考えたら、一目瞭然です。

製本業では少し止まってみても、伝統を守りながら、変革を続けることはできます。そんな会社に成長できたらと思います。



実習生についてお聞かせください。

当社では、海外の実習生の受け入れを始めて15年目になります。最初は、中国人の実習生を受け入れていましたが、現在はベトナム人の受け入れをしています。

15年前に人手不足だった時期があり、フレンドシップ協同組合のことは、紹介され知っていたので、相談をして実習生の受け入れを始めました。

実習生は、現在9名のベトナム人が在職しています。当社は、優良実習実施者として認定されているので、受入期間が最長となる技能実習3号の人もいます。技術を身につけて、長期間働いてもらえることは、当社にとっても大いに助かっています。

在職者は、20代の若い人たちです。転職という形で、日本で働きたいという人ばかりです。制度を利用して来日するタイミングや年齢は異なるので、自分より若い子が先輩になることもあります。当社では年齢に関係なく先に在職している人を先輩として、仕事することを基本にしています。



実習生についてお聞きしました。

実習生の人数:9人 受け入れの国:ベトナム

どのような仕事をお願いしていますか？

最初に紙の触り方や、扱い方を教えています。これまでの人生で大量の紙を扱う機会はないと思うので、基本として伝えています。

工場では生産ラインでの作業と、手作業での仕事があります。例えば、生産ラインでは、紙の補充や仕上がりの点検などがあります。手作業では、綴じられた製本にカバーを付けたり、出荷するための梱包をしています。

一部の難しい作業については、日本人が担当していますが、一通りの仕事ができるように指導しています。納期によっては、1日を通して同じ作業が続くこともありますが、どの仕事でも丁寧に作業してくれます。

仕事を覚えるのは来日してからですが、どんな仕事が合っているのかは、面接で本人の適性を見て、現場で働く姿をイメージしながら決めています。



教育にあたり気をつけているところは？

教育や指導に関しては、担当者を決めずに全員で関わっています。技術や仕事の手順を教えるのはもちろんですが、当社では「日本の精度の高さ」を知ってほしいと考えています。

日本では当たり前ですが、本に不良品はほとんど見られません。それは、私たちが製本をする上で、お客様に喜んでもらえること、精度の高さを求めて仕事をした結果でもあると自負しています。

例えば、1時間働いて得られる報酬の金額は同じでも、仕事内容は国が変われば価値観が変わります。海外では、「精度を気にせず仕上げてしまえばいい」という国もあります。日本では通用しません。正確に、丁寧に仕上げることは基本であり、それを時間内に完了させることが求められます。

良くも悪くも、日本での仕事は厳しく丁寧なものです。このマインドが身についたら、帰国後にどんな仕事に就いても、活かすことができると思っています。一人でも多くの方が同じように仕事をしてもらえたら嬉しいですね。



面接時に見ているところは？

現地での面接には、私も立ち会っていますが、人となりを重視しています。どんな理由があり、どれだけ真剣に日本で働きたいのかを聞きます。その他には、話した時の印象や親しみやすさを大切にしています。



受け入れにあたり苦勞しているところは？

受け入れを始めた当初は、お互いに上手いかず苦勞をしました。文化や宗教の違いというより、言葉の違いに戸惑う場面が多くありました。

それでも伝えようと、中国人には、漢字を書いてニュアンスで理解してもらうことがありました。ベトナム人には、それが

通用しませんが、だからこそ本人たちの日本語を勉強する意欲が高くなり、理解する努力をしてくれました。

困った時には、フレンドシップ協同組合の方に通訳として来てもらうこともあります。仕事に関する専門的な用語もある中で、一緒に言葉を探しなら伝えてくれるので、助かっています。

今では、私や社員も受け入れることに慣れましたので、ほとんど苦勞はありません。こちらに余裕がある分、安心して日本で働いてもらえたらと思います。



思い出のエピソードを教えてください。

当社では、社員同士の親睦を兼ねて社員旅行を毎年開催しています。今年はコロナ禍ですから、旅行は中止となりましたが、実習生も喜んで参加しています。日本人と一緒に出かけることが好評のようです。

職場以外で美味しい物を食べたり、いつもとは違った雰囲気の中で話ができるのは、とても楽しいですね。

また、現地での面接の際に、会いに来てくれる実習生もいます。食事をしながら近況報告をしてくれるのは、受け入れ事業に関わって良かったなと思います。

最後に

事業の成長と共に考えていることがあります。製本の仕事には「製本技能士」という国家資格があります。さらには、実習生が受ける検定内容は、普段の作業とのギャップがあります。製本業という業界への理解が低いのかなと考えています。こうしたことから、業界への認知と理解が向上できるように取り組んで行けたらと思います。

フレンドシップ協同組合

創刊に当たり思うこと

新しい発想が生まれてくるきっかけになれば・・・

フレンドシップ協同組合も 2001 年の創立から今年の 10 月で 20 年目に入ろうとしています。異業種の団体として、それぞれ個々の業種の案内をすることにより、別業種の方には新しい発想が生まれてくるのではとの思いから、また外国人技能実習制度及び特定技能等の新情報を組合員の皆様にお伝えするため、この度、季刊誌「ship」を創刊する事になりました。

当初、年間 4 回にわたり発刊し、組合員のご案内や組合スタッフの紹介、またその時々合わせた時事情報などをお伝えしていくつもりです。

組合員の皆様にご協力頂き、できる限り長く続けていく予定ですのでどうぞよろしくお願い致します。



理事長 溝渕和典



新型コロナウイルス感染症の流行に伴う 外国人技能実習生等の動向について

2020 年 9 月現在、新型コロナウイルス感染症が世界中に猛威を振るっています。

技能実習 2 号を終了した外国人技能実習生も、飛行機が飛ばない為、母国に帰ろうにも帰れず、特定活動（就労可 6 か月）で継続して就労する者や、特定活動（就労不可 6 か月）で当組合研修センター寮にて帰国を待っている者等様々です。

入国者につきましては、技能実習 3 号及び特定技能 1 号を行なうため一旦帰国していた技能実習生等の査証がやっと下り、8 月より日本への入国が叶うようになりました。

また、今年 3 月以降の技能実習 1 号での新規入国者は、査証が下り次第入国可能となり、母国で首を長くして日本への入国を待っておりますが、中には長期間待ちきれずに辞退する者も出てきました。

入国後も 2 週間の自主隔離が義務付けられており、早期のワクチン開発及び接種が望まれるところです。

スタッフ紹介



井上 愛梨 いのうえ あいり

- 出身国／日本 ○部署／事務局
- フレンドシップに入ってどのくらい／1年と少し

お仕事内容

外国人技能実習機構や入国管理局に提出するための書類の作成が主な仕事です。在留資格関係の書類を提出するために入国管理局へ行くこともあります。フレンドシップ協同組合に入社しなかったら、入国管理局に足を踏み入れることはなかったと思います。

趣味などありますか？

ここ最近は大滅の刃にハマっています！世間の流行りにまんまと乗せられました（笑）コロナ禍以前は、ひとりでライブなどに行ったりもしていました。去年のフジロックは本当に最高でした。熱しやすく冷めやすいタイプなので、半年後にはまた全然違うものにハマっているかもしれません。

これからやっていきたいこと（挑戦したいこと）

今はなかなか難しい状況ですが、今後できるだけいろいろな国に行ってみたいです。フレンドシップ協同組合に入社して、中国とベトナムへの親近感が以前よりずっと強くなりました。特にベトナムは一度も行ったことがないのでぜひ訪れてみたいです！また、中国西域のオアシス都市、敦煌などもすごく気に入っています。シルクロードに思いを馳せながら砂漠を歩きたいです。（笑）

フレンドシップで働いて学んだこと（感じたこと）

外国出身の社員の方が多いので、話しているときに自然と日本との文化の違いの話題になったりするのですが、感心させられることが多いです。また、社員の方々が出張や帰省のあとにその国ならではのお土産を買ってきてくれて、社内においておいてくれるのは、フレンドシップならではの光景かもしれません。食べたことのないお菓子に挑めるので毎回楽しいです。学生のころから外国に興味があり、大学では世界史を専攻していたので、そんな自分に合っている職場だなあと感じながら日々仕事をしています。





組合理念 世の為・人の為 人は石垣 人は城

フレンドシップ協同組合

「一人は万人の為に、万人は一人の為に」の精神の下、異業種間の総合扶助を目的に設立されました。企業であれ組合であれ、何のために組織を運営していくかという理念が必要です。その理念として「世の中の為」になる事業である事、「人の為」になる事業である事を掲げました。また、組織が大きくなるにつれ、どんなに素晴らしい理想があっても、どんなに立派な施設に入っても実行するのは人との考えが増すばかりです。人の大切さを自覚し、武田信玄公の教えに習って「人は石垣 人は城」をも併せて総合理念として掲げました。クレジットカードなどに永久不滅ポイントというのがありますが、この事業も永久不滅に継続させていきたい幸いです。



フレンドシップ協同組合
Friendship Cooperative

〒 460-0008

名古屋市中区栄三丁目 11 番 31 号グラスシティ栄 5F

TEL : 052-262-3500 (9:00 ~ 18:00)

FAX : 052-262-3501

URL : <http://friendship.or.jp>